

## 2020年度 第3四半期 決算説明会



**本田技研工業株式会社**

2021年2月9日

- 2020年度 第3四半期 決算および  
2020年度見通しの総括
- 決算および見通しの詳細

(千台)

グループ 販売台数	二輪事業			四輪事業			ライフクリエーション事業		
	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減
日本	154	<b>155</b>	+ 1	489	<b>418</b>	- 71	218	<b>233</b>	+ 15
北米	221	<b>240</b>	+ 19	1,402	<b>1,098</b>	- 304	1,661	<b>1,815</b>	+ 154
欧州	186	<b>159</b>	- 27	103	<b>77</b>	- 26	502	<b>567</b>	+ 65
アジア	13,453	<b>9,257</b>	- 4,196	1,655	<b>1,741</b>	+ 86*	1,038	<b>1,012</b>	- 26
その他	1,024	<b>780</b>	- 244	160	<b>91</b>	- 69	211	<b>228</b>	+ 17
合計	15,038	<b>10,591</b>	- 4,447	3,809	<b>3,425</b>	- 384	3,630	<b>3,855</b>	+ 225
増減率			- 29.6%			- 10.1%			+ 6.2%
									* 中国 + 263千台含む
連結 売上台数	9,732	<b>7,263</b>	- 2,469	2,541	<b>1,899</b>	- 642	3,630	<b>3,855</b>	+ 225

3

当第3四半期累計のHondaグループ販売台数につきましては、二輪事業は1,059万1千台、四輪事業は342万5千台、ライフクリエーション事業は385万台5千台となりました。

日本		小売実績	
9ヵ月間累計	台数 (千台)	前年比 (%)	
全需	3,227	88.0	
販売台数	432	86.1	

(全需出典：日本自動車販売協会連合会)



※N-BOXシリーズ(N-BOX、N-BOX+、N-BOX SLASH)(2015年～2020年国内軽自動車新車販売台数第1位(全軽自動車))



※N-BOXシリーズ(N-BOX、N-BOX+、N-BOX SLASH) 2017年～2020年の登録率を含む国内新車販売台数第1位(全軽自動車・自動車資料調べ)



N-BOX・N-BOX Custom



N-ONE  
2020年11月発売

## ■販売実績

【市場】 前年同期を下回る  
10月以降は昨年の消費増税影響などにより前年を上回る  
(当第3四半期：前年同期比 114.6%)

【ホンダ】 新型車 N-ONE の投入効果などにより、10月以降は前年を上回る  
N-BOX シリーズ：  
2020年新車販売台数 4年連続第1位  
軽四輪車新車販売台数 6年連続第1位

## ■2020年度 販売見通し

【市場】 新型コロナウイルス感染症拡大影響により前年度を下回る

【ホンダ】 市場の減速影響に加え半導体供給不足による影響などを受け前年度を下回る

日本の全体市場は、新型コロナウイルス感染症の影響で9ヵ月間の累計では前年同期を下回りましたが、10月以降は消費増税後で販売が落ち込んだ前年を上回りました。

Hondaも10月以降は、全体市場の動きに加え好調なN-BOXや新型車N-ONEの投入効果などにより前年を上回りました。

N-BOXシリーズは2020年新車販売台数において4年連続の第1位となりました。

2020年度の全体市場は、新型コロナウイルス感染症の影響などを受け前年度を下回る見込みです。

Hondaは市場の減速影響に加え、半導体の供給不足による影響を受け前年度を下回る見込みです。

米国		小売実績	
9ヵ月間累計	台数 (千台)	前年比 (%)	
全需	11,066	84.9	
販売台数	1,048	84.6	

(全需出典：Autodata)



Pilot



MDX  
2020年12月発表

### ■ 販売実績

【市場】 5月以降の段階的な経済活動再開などにより緩やかに回復するも、前年同期を下回る  
(当第3四半期：前年同期比 97.5%)

【ホンダ】 CR-V、Civic や Pilot を中心に回復、市場とほぼ同等

### ■ 2020年度 販売見通し

【市場】 新型コロナウイルス新規感染者数は依然高水準であり、見通しは不透明

【ホンダ】 新型MDX を投入するなど、ライトトラックを中心に販売の拡大を図るものの、半導体供給不足による影響を受け前年度を下回る

米国の全体市場は5月以降の段階的な経済活動再開などにより緩やかに回復してきていますが、9ヵ月間の累計では前年同期を下回っています。

Hondaも、CR-V、Civic、Pilotを中心に回復しており、9ヵ月間の累計では市場とほぼ同等の結果となりました。

2020年度の全体市場は、新型コロナウイルスの新規感染者数が依然高水準であり見通しは不透明です。

Hondaは新型MDXを投入するなど、ライトトラックを中心に販売の拡大を図っていきませんが半導体の供給不足による影響などもあり前年度を下回る見込みです。

中国		小売実績	
9ヵ月間累計	台数 (千台)	前年比 (%)	
全需*	21,620	111.5	
販売台数	1,405	115.2	

\*全需は卸売台数 (当社調べ)

### ■ 販売実績

【市場】 消費刺激策の効果などにより  
前年同期を上回る

【ホンダ】 Breeze、CR-V や Civic などの好調な販売に加え  
Civic ハッチバック、Fit や Life などの  
新型車投入効果により市場の伸びを上回る

6ヵ月連続で単月の販売実績が過去最高を更新  
東風本田と共同開発した量産EV、M-NV を発売



LIFE  
2020年12月発売



Breeze



M-NV  
2020年11月発売

### ■ 2020年度 販売見通し

【市場】 2021年暦年は前年を上回る見通し

【ホンダ】 半導体供給不足による影響はあるものの、  
主要モデルの販売増加や電動車の拡充などにより  
前年度越えを目指す

中国では消費刺激策の効果などにより、全体市場は前年同期を上回りました。

HondaはBreeze、CR-V、Civicなどの好調な販売に加えCivicハッチバック、Fit、Lifeなどの新型車投入効果で市場の伸びを上回り、6ヵ月連続で単月での販売実績は過去最高を更新しました。

また、主力車種への電動車ラインアップ拡充に加え11月には東風本田と共同開発した量産電気自動車、M-NVを発売しました。

2021年暦年の全体市場は前年を上回る見通しであり、Hondaは半導体の供給不足による影響はあるものの、主要モデルの販売増加や電動車ラインアップの更なる拡充などにより前年度越えを目指します。



アジア		卸売実績	
9か月間累計	台数 (千台)	前年比 (%)	
インド	2,643	70.1	
ベトナム	1,603	77.5	
タイ	769	75.4	
フィリピン	400	83.3	
インドネシア	1,677	46.1	
パキスタン	723	89.7	
6か国 計	7,815	66.3	

他		卸売実績	
9か月間累計	台数 (千台)	前年比 (%)	
ブラジル	514	77.6	
米国	132	96.3	
中国	949	109.1	

■ 販売実績

【市場】 中国や米国などでは回復。  
最大市場のアジアも緩やかに回復するも、  
前年同期を下回る

【ホンダ】 前年同期を下回るが、  
インドやタイでの堅調な回復に加え、  
インドネシアも緩やかに回復

■ 2020年度 販売見通し

【市場】 新型コロナウイルス感染症の影響などにより  
見通しは依然不透明

【ホンダ】 ブラジルなどで販売減を見込むが、  
インドやインドネシアなどでの販売増により、  
前回見通し\*を上方修正



Scoopy (タイ・インドネシア)  
2020年11月発売



Vision (ベトナム)  
2020年12月発売

\*前回見通し：11月6日発表 7

つづいて、二輪事業です。

中国や米国などでは、公共交通機関の代わりに二輪車を利用する動きや旺盛なアウトドア需要により市場はほぼ回復しています。また、最大市場のアジアでも緩やかな回復が見られるものの、9か月間の累計では前年同期を下回りました。

Hondaも前年同期を下回っていますが、インドやタイでの堅調な回復に加えインドネシアでも10月から緩やかな回復が見られています。

2020年度の全体市場の見通しは、新型コロナウイルス感染症影響などを受け依然として不透明です。

Hondaはブラジルなどで販売減を見込みますが、インドやインドネシアなどでの販売増を反映し前回見通しを上方修正しました。

営業利益：新型コロナウイルス感染症の拡大影響による需要の減少はあったものの  
 全社横断での抜本的事業活動見直しを継続、  
 販売費及び一般管理費の抑制やコストダウン効果などにより  
 営業利益は **4,470億円**

四半期利益：持分法による投資利益の増加もあり 4,441億円

\*1

Honda グループ販売台数 (連結売上台数) (千台)	9カ月間			損益状況 (億円)	2019年度 実績	2020年度 実績	増減	
	2019年度 実績	2020年度 実績	増減率				額	率
二輪事業	15,038	<b>10,591</b>	- 29.6%	売上収益	114,729	<b>95,467</b>	- 19,262	- 16.8%
	(9,732)	<b>(7,263)</b>	(- 25.4%)	営業利益	6,392	<b>4,470</b>	- 1,922	- 30.1%
四輪事業	3,809	<b>3,425</b>	- 10.1%	営業利益率	5.6%	<b>4.7%</b>		- 0.9 pt
	(2,541)	<b>(1,899)</b>	(- 25.3%)	持分法による投資利益	1,497	<b>2,045</b>	+ 548	+ 36.6%
ライフ クリエーション事業	3,630	<b>3,855</b>	+ 6.2%	税引前利益	7,861	<b>6,587</b>	- 1,274	- 16.2%
	(3,630)	<b>(3,855)</b>	(+ 6.2%)	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	4,852	<b>4,441</b>	- 411	- 8.5%
				1株当たり四半期利益 *2	276.13円	<b>257.21円</b>		- 18.92円
				期中平均為替レート 米ドル	109円	<b>106円</b>		3円 円高

\*1 親会社の所有者に帰属する四半期利益

\*2 巻末をご覧ください

8

2020年度第3四半期累計の総括です。

新型コロナウイルス感染症の拡大影響による需要の減少はあったものの、全社横断で抜本的事業活動見直しを継続した結果、販売費及び一般管理費の抑制やコストダウン効果などにより営業利益は4,470億円となりました。

また、四半期利益は持分法による投資利益の増加もあり4,441億円となりました。

販売台数と損益状況はご覧の通りです。



営業利益： 新型コロナウイルスの感染再拡大や、半導体供給不足の影響はあるものの、  
1,000億円増益の **5,200億円** に上方修正

当期利益： 持分法による投資利益の増加などもあり、  
\* 750億円増益の **4,650億円** に上方修正

Honda グループ販売台数 (連結売上台数) (千台)	12 カ月間			前回見通し からの増減	損益状況 (億円)	2019年度 実績	2020年度 見通し	増減		前回見通し からの 増減額
	2019年度 実績	2020年度 見通し	増減率					額	率	
二輪事業	19,340 (12,426)	<b>15,000</b> <b>(10,185)</b>	- 22.4% (- 18.0%)	+ 200 (+ 40)	売上収益	149,310	<b>129,500</b>	- 19,810	- 13.3%	- 1,000
四輪事業	4,790 (3,318)	<b>4,500</b> <b>(2,615)</b>	- 6.1% (- 21.2%)	- 100 (- 100)	営業利益	6,336	<b>5,200</b>	- 1,136	- 17.9%	+ 1,000
ライフ クリエーション事業	5,701 (5,701)	<b>5,500</b> <b>(5,500)</b>	- 3.5% (- 3.5%)	- (-)	営業利益率	4.2%	<b>4.0%</b>		- 0.2pt	+ 0.8pt
					持分法による投資利益	1,642	<b>2,350</b>	+ 707	+ 43.1%	+ 100
					税引前利益	7,899	<b>7,450</b>	- 449	- 5.7%	+ 850
					親会社の所有者に 帰属する当期利益	4,557	<b>4,650</b>	+ 92	+ 2.0%	+ 750
					1株当たり当期利益	260.13円	<b>269.31円</b>		+ 9.18円	+ 43.44円
					期中平均為替レート 米ドル	109円	<b>105円</b>		4円 円高	1円 円高

### 【Hondaグループ販売台数の概要】

- 二輪** インドやインドネシアなどでの販売増加を踏まえ、前回見通しより増加
- 四輪** 半導体供給不足の影響などを受け、前回見通しより減少

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2020年度の業績見通しです。

Hondaグループの販売台数については、二輪事業においてインドやインドネシアでの販売増加を踏まえ前回見通しに対し増加、四輪事業において半導体供給不足の影響などを受け前回見通しに対し減少としております。

営業利益については、新型コロナウイルスの感染再拡大や半導体供給不足の影響はあるものの、前回見通しに対し1,000億円増益の5,200億円に上方修正します。

また、当期利益は、持分法による投資利益の増加などもあり、前回見通しに対し750億円増益の4,650億円に上方修正します。なお、これは前年度を上回る金額となります。

販売台数と損益状況はご覧の通りです。

1株当たり配当金 (円)	2019年度	2020年度 (予想)	対2019年度 増減額	前回見通し からの増減額
第1四半期末配当金	28	11	- 17	-
第2四半期末配当金	28	19	- 9	-
<b>第3四半期末配当金</b>	28	<b>26</b>	- 2	+ 7
期末配当金	28	(26)	(- 2)	(+ 7)
<b>年間配当金</b>	112	<b>(82)</b>	(- 30)	(+ 14)

10

2020年度の年間配当金の予想です。

不透明な事業環境の中ではありますが、事業体質の見直しなどによる収益改善を踏まえ、前回公表した予想に比べ1株当たり14円増配の82円、当第3四半期末配当金は1株当たり7円増配の26円といたしました。

- 2020年度 第3四半期 決算および  
2020年度見通しの総括
- 決算および見通しの詳細

Honda グループ販売台数 (連結売上台数) (千台)	第3四半期 (3カ月間)		
	2019年度 実績	2020年度 実績	増減率
二輪事業	5,019 (3,190)	<b>4,269</b> <b>(3,019)</b>	- 14.9% (- 5.4%)
四輪事業	1,247 (808)	<b>1,380</b> <b>(809)</b>	+ 10.7% (+ 0.1%)
ライフ クリエーション事業	1,195 (1,195)	<b>1,402</b> <b>(1,402)</b>	+ 17.3% (+ 17.3%)

【Hondaグループ販売台数の概要】

<b>二輪</b>	パキスタン、インドなどで増加はあったものの、インドネシア、ベトナムなどで減少
<b>四輪</b>	中国、米国、日本などで増加
<b>LC</b>	北米、欧州などで増加
<b>売上収益</b>	二輪事業における減少や為替換算による減少影響などはあったものの、四輪事業や金融サービス事業における増加などにより、3兆7,715億円と前年同期にくらべ0.6%の増収
<b>営業利益</b>	販売費及び一般管理費の増加や為替影響などはあったものの、研究開発費の効率化やコストダウン効果などにより、2,777億円と前年同期にくらべ66.7%の増益
<b>持分法による投資利益</b>	過去に認識した減損損失の戻入れや中国における利益増などにより、1,022億円と前年同期にくらべ146.1%の増益
<b>四半期利益</b>	税引前利益の増加により、2,840億円と前年同期にくらべ144.0%の増益

損益状況 (億円)	第3四半期 (3カ月間)		
	2019年度 実績	2020年度 実績	増減率
売上収益	37,475	<b>37,715</b>	+ 0.6%
営業利益	1,666	<b>2,777</b>	+ 66.7%
営業利益率	4.4%	<b>7.4%</b>	+ 3.0pt
持分法による投資利益	415	<b>1,022</b>	+ 146.1%
税引前利益	2,067	<b>3,864</b>	+ 86.9%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	1,164	<b>2,840</b>	+ 144.0%
1株当たり四半期利益	66.37円	<b>164.51円</b>	+ 98.14円
期中平均為替レート 米ドル	109円	<b>104円</b>	5円 円高

当第3四半期、3カ月間の総括です。

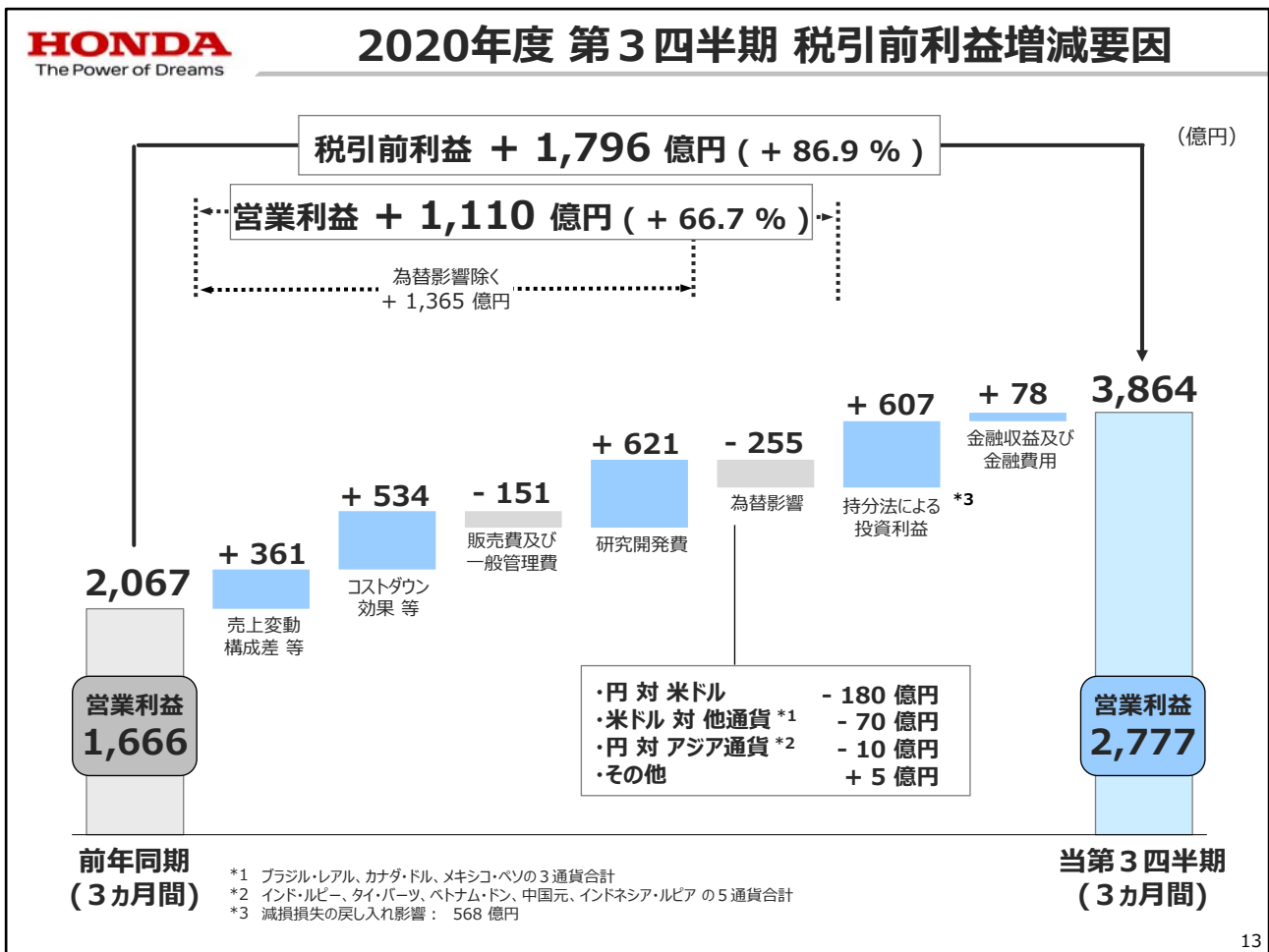
Hondaグループ販売台数は、二輪事業ではパキスタン、インドなどで増加はあったものの、インドネシア、ベトナムなどで減少、四輪事業では中国、米国、日本などで増加、ライフクリエーション事業では北米、欧州を中心にOEM向けエンジンなどの販売が増加しました。

つぎに、損益の状況です。

売上収益は、二輪事業における販売台数の減少や為替換算による減少影響などはあったものの、四輪事業や金融サービス事業における増加などにより、3兆7,715億円となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の増加や為替影響などはあったものの、研究開発費の効率化やコストダウン効果などにより2,777億円となりました。

なお、持分法による投資利益は、過去に認識した減損損失の戻入れや中国における利益増などにより1,022億円となりました。



税引前利益の増減要因についてご説明します。

当第3四半期の税引前利益は、3,864億円と前年同期にくらべ1,796億円の増益、営業利益は2,777億円と前年同期にくらべ1,110億円の増益となりました。

為替影響を除く営業利益では研究開発費の効率化に加えて、コストダウン効果などにより1,365億円の増益となりました。

研究開発費においては、開発効率向上に加え前期に電動化関連の費用計上が集中した影響もあり減少していますが、将来に向けた研究開発活動は予定通り推進しています。

上段：2020年度

下段：2019年度

	二輪事業	四輪事業	金融サービス事業	ライフクリエーション事業 及びその他の事業
(台数：千台)				
Honda	<b>4,269</b>	<b>1,380</b>	-	<b>1,402</b>
グループ販売台数	(3,019)	(809)	-	(1,402)
(連結売上台数)	5,019	1,247	-	1,195
	(3,190)	(808)	-	(1,195)
(金額：億円)				
売上収益	<b>4,908</b>	<b>26,381</b>	<b>6,176</b>	<b>864</b>
	5,302	25,748	6,197	863
営業利益	<b>727</b>	<b>1,231</b>	<b>857</b>	<b>- 38</b>
	745	337	645	- 61
営業利益率	<b>14.8%</b>	<b>4.7%</b>	<b>13.9%</b>	<b>- 4.4%</b>
	14.1%	1.3%	10.4%	- 7.2%
増減要因	コストダウン効果や販売費及び一般管理費の減少などはあったものの、売上変動及び構成差に伴う利益減や為替影響などにより18億円の減益	販売費及び一般管理費の増加などはあったものの、売上変動及び構成差に伴う利益増やコストダウン効果などにより894億円の増益	クレジット損失引当金の計上差などにより211億円の増益	販売費及び一般管理費の減少などにより23億円の改善
金融サービス事業は、お客様が製品を購入する際のローンやリースなどのサービスの提供を行っており、主に四輪車の販売に関連するものです。	<b>【ご参考】金融サービス中の四輪分合算営業利益</b>			上記に含まれる航空機および航空エンジン営業利益
金融サービス中の四輪分は、営業利益を総資産比率で按分する等の計算方法で算出しています。	<b>2,054億円 / 6.5%</b>			<b>- 91億円</b>
	前年同期：952億円 / 3.0%			前年同期：- 100億円

14

事業別の業績についてご説明します。

二輪事業の営業利益は、コストダウン効果や販売費及び一般管理費の減少などはあったものの、売上変動及び構成差に伴う利益減や為替影響などにより727億円となりました。

四輪事業と金融サービス事業に含まれる四輪車の販売に関連する営業利益ですが、合算すると2,054億円と試算されます。

四輪事業の営業利益は、販売費及び一般管理費の増加などはあったものの、売上変動及び構成差に伴う利益増やコストダウン効果などにより1,231億円となりました。

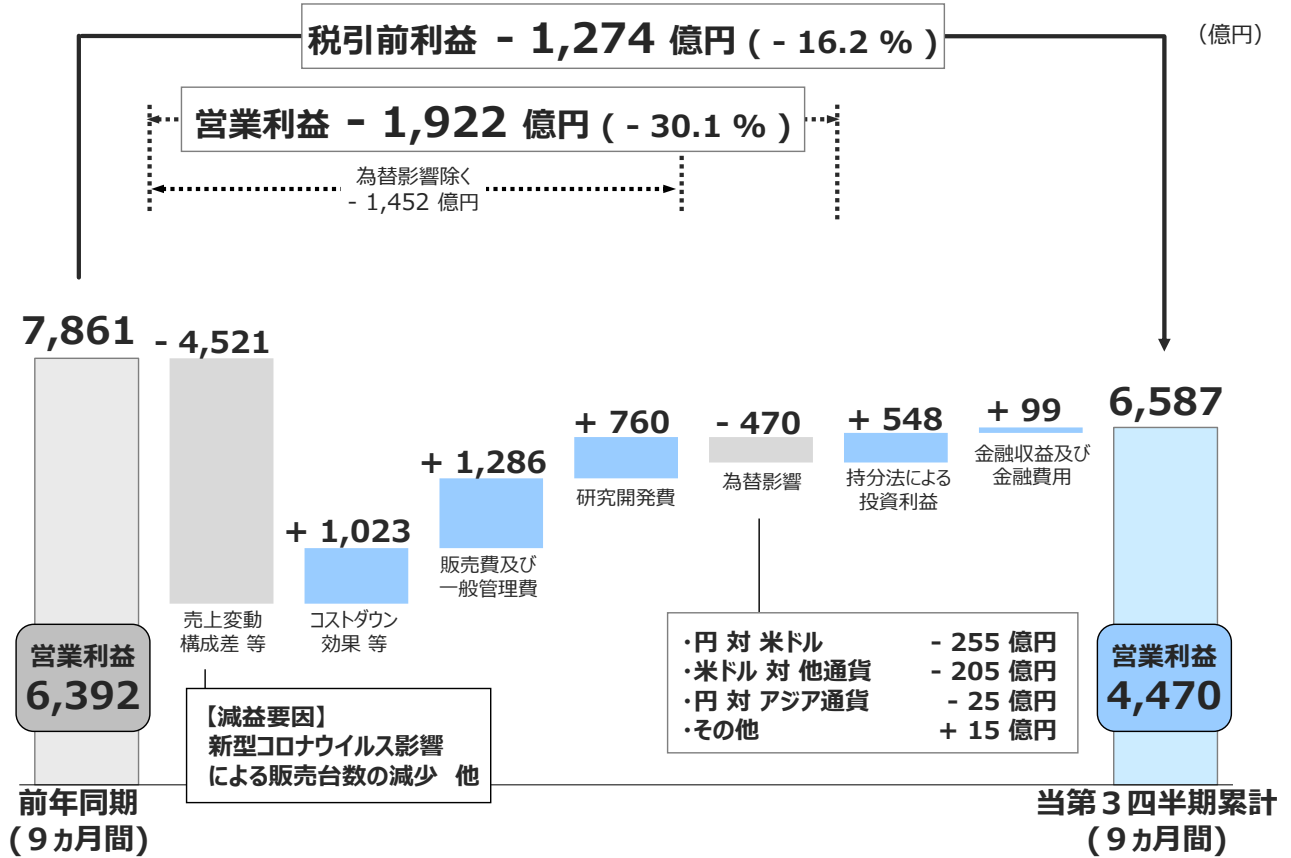
金融サービス事業の営業利益は、クレジット損失引当金の計上差などにより857億円となりました。

ライフクリエーション事業及びその他の事業の営業損失は、38億円となりライフクリエーション事業及びその他の事業に含まれる航空機および航空エンジン営業損失は91億円となりました。



損益状況（億円）	2019年度 実績	2020年度 実績	増減	
			額	率
売上収益	114,729	<b>95,467</b>	- 19,262	- 16.8%
営業利益	6,392	<b>4,470</b>	- 1,922	- 30.1%
営業利益率	5.6%	<b>4.7%</b>		- 0.9pt
持分法による投資利益	1,497	<b>2,045</b>	+ 548	+ 36.6%
税引前利益	7,861	<b>6,587</b>	- 1,274	- 16.2%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	4,852	<b>4,441</b>	- 411	- 8.5%
1株当たり四半期利益	276.13円	<b>257.21円</b>		- 18.92円
期中平均為替レート 米ドル	109円	<b>106円</b>		3円 円高

当第3四半期累計の損益状況はご覧のとおりです。



この増減要因をご説明します。

税引前利益は、6,587億円と、前年同期にくらべ1,274億円の減益、  
営業利益は、販売費及び一般管理費の減少やコストダウン効果などはあったものの売上変動及び構成差等の減少などにより4,470億円と、前年同期にくらべ1,922億円の減益となりました。

(億円)

9ヵ月間	2019年度	2020年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	+ 6,988	+ 7,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	- 3,998	- 6,575
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>+ 2,990</b>	<b>+ 1,040</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	- 3,354	- 151
為替影響	- 189	- 302
現金及び現金同等物の純増減	- 553	+ 585
<b>現金及び現金同等物の 四半期末残高</b>	<b>23,261</b>	<b>25,212</b>
<b>ネットキャッシュの四半期末残高</b>	<b>19,516</b>	<b>17,848</b>

17

つぎに、2020年度第3四半期9ヵ月間の事業会社のフリーキャッシュフローは、1,040億円となり、現金及び現金同等物の第3四半期末残高は2兆5,212億円となりました。

また、ネットキャッシュは1兆7,848億円となりました。

グループ 販売台数	二輪事業			四輪事業			ライフクリエーション事業		
	2020年度 前回見通し	2020年度 今回見通し	増減	2020年度 前回見通し	2020年度 今回見通し	増減	2020年度 前回見通し	2020年度 今回見通し	増減
日本	210	<b>210</b>	-	620	<b>595</b>	- 25	295	<b>320</b>	+ 25
北米	340	<b>320</b>	- 20	1,535	<b>1,485</b>	- 50	2,775	<b>2,580</b>	- 195
欧州	240	<b>230</b>	- 10	110	<b>95</b>	- 15	790	<b>890</b>	+ 100
アジア	12,930	<b>13,195</b>	+ 265	2,205	<b>2,195</b>	- 10	1,335	<b>1,375</b>	+ 40
その他	1,080	<b>1,045</b>	- 35	130	<b>130</b>	-	305	<b>335</b>	+ 30
合計	14,800	<b>15,000</b>	+ 200	4,600	<b>4,500</b>	- 100	5,500	<b>5,500</b>	-
前年度 実績	19,340			4,790			5,701		
連結 売上台数	10,145	<b>10,185</b>	+ 40	2,715	<b>2,615</b>	- 100	5,500	<b>5,500</b>	-

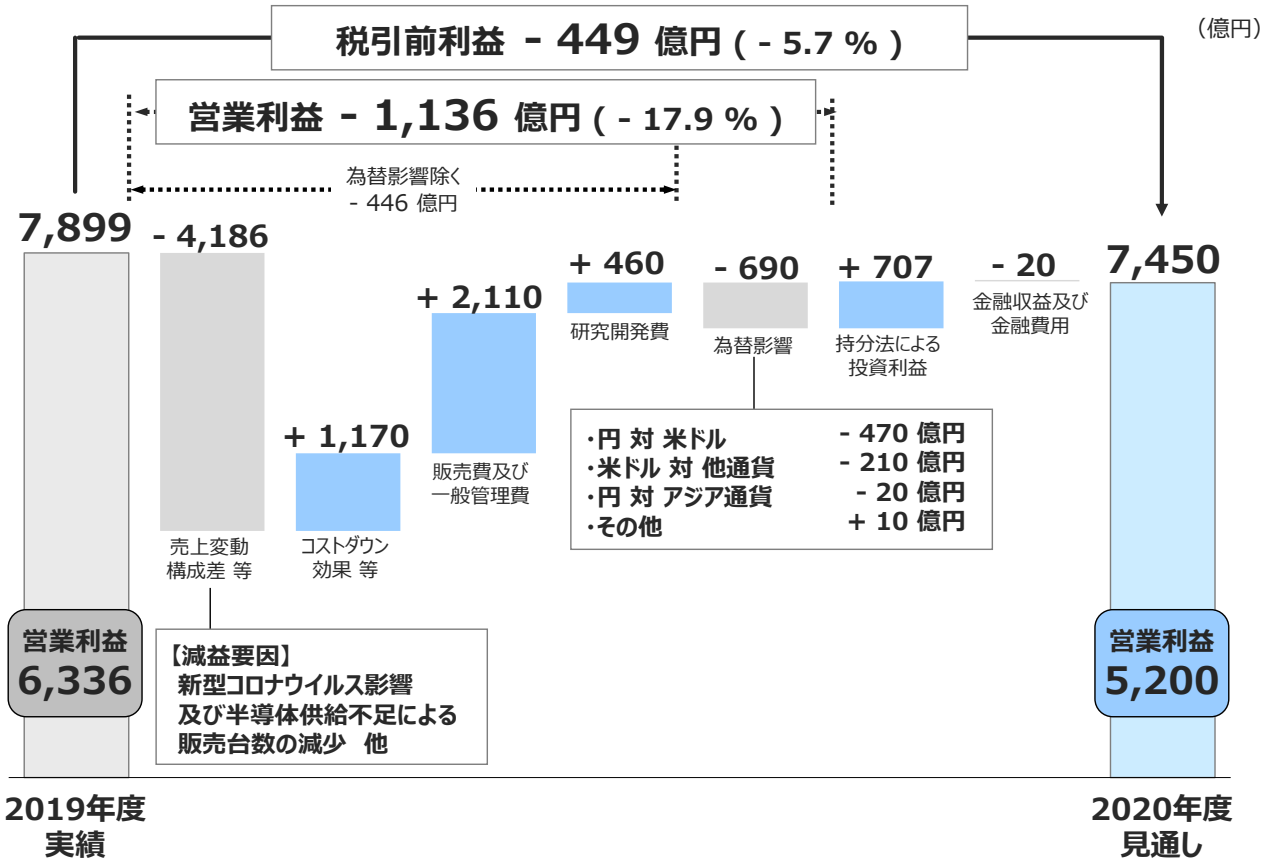
2020年度の連結業績見通しについてご説明します。

Hondaグループ販売台数は、二輪事業ではインドやインドネシアなどにおける販売計画を上方修正したことなどにより、前回見通しに対し20万台の増加となる1,500万台、四輪事業では半導体の供給不足による影響などにより、10万台の減少となる450万台、ライフクリエーション事業では前回見通し同等の550万台を見込んでいます。

損益状況 (億円)	2019年度 実績	2020年度 見通し	増減		前回見通し からの 増減額
			額	率	
売上収益	149,310	<b>129,500</b>	- 19,810	- 13.3%	- 1,000
営業利益	6,336	<b>5,200</b>	- 1,136	- 17.9%	+ 1,000
営業利益率	4.2%	<b>4.0%</b>		- 0.2pt	+ 0.8pt
持分法による投資利益	1,642	<b>2,350</b>	+ 707	+ 43.1%	+ 100
税引前利益	7,899	<b>7,450</b>	- 449	- 5.7%	+ 850
親会社の所有者に 帰属する当期利益	4,557	<b>4,650</b>	+ 92	+ 2.0%	+ 750
1株当たり当期利益	260.13円	<b>269.31円</b>		+ 9.18円	+ 43.44円
期中平均為替レート 米ドル	109円	<b>105円</b>		4円 円高	1円 円高

2020年度の連結業績見通しは、ご覧のとおりです。

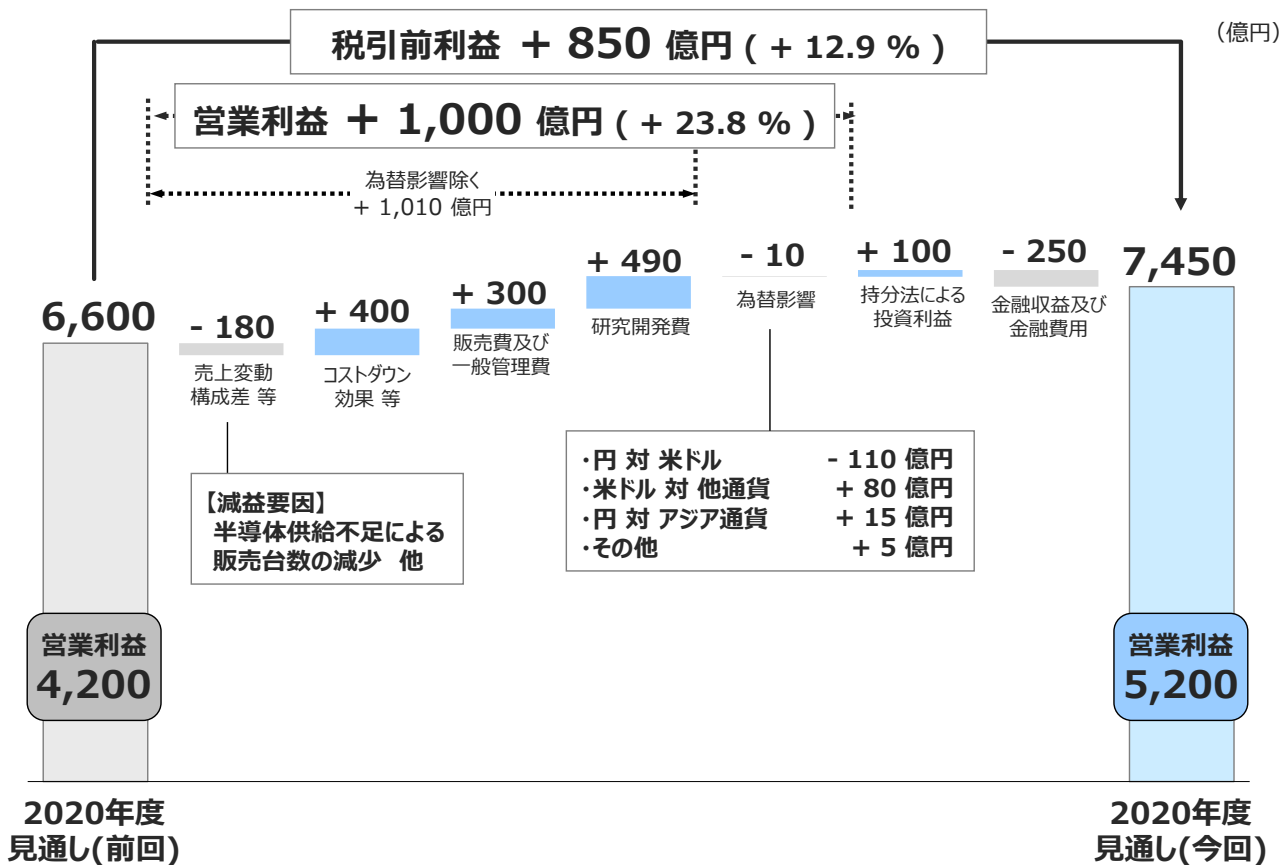
## 対前年度 2020年度見通し 税引前利益増減要因



前年度実績からの増減要因です。

売上変動及び構成差等や為替影響によるマイナスはあるものの、販売費及び一般管理費の減少やコストダウン効果などによるプラスにより、営業利益は5,200億円を計画しています。





前回公表しました通期見通しに対する増減要因です。

売上変動及び構成差等の減少などはあったものの、コストダウン効果や販売費及び一般管理費を中心とした費用の抑制により、営業利益は1,000億円の上方修正としました。

なお、売上変動及び構成差等には半導体の供給不足による減益要因を含んでいます。

(億円)	2019年度 実績	2020年度 見通し	増減	前回見通し からの増減額
設備投資 *1	3,756	<b>3,500</b>	- 256	-
減価償却費 *1	3,969	<b>3,600</b>	- 369	-
研究開発支出 *2	8,214	<b>8,000</b>	- 214	- 200

\*1 オペレーティング・リース資産、使用権資産および無形固定資産に係る設備投資および減価償却費は上記の実績、見通しには含めていません。

\*2 研究開発支出は報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出であり、IFRSでは当該支出の一部を無形資産として計上し見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の研究開発費と異なります。

最後に、2020年度の設備投資、減価償却費、研究開発支出の見通しについてはご覧のとおりです。

## 将来見通しに関する注意事項：

このスライドに記載されている本田技研工業株式会社の業績見通しおよび配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しおよび配当予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社、連結子会社および持分法適用会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、為替相場の変動などが含まれます。

## 会計基準：

国際会計基準審議会が公表した国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

## 利益増減要因に関する注意事項：

このスライドに記載されている営業利益変動要因の各項目については、当社が現在合理的であると判断する分類および分析方法に基づいています。なお、一部の分析項目において、当社および主要な連結子会社を対象に分析しております。各項目の分析方法については、以下のとおりです。

- (1) 「為替影響」については、海外連結子会社の財務諸表の円換算時に生じる「為替換算差」と外貨建取引から生じる「実質為替影響」について分析しております。なお、「実質為替影響」については、主な取引を対象に分析しており、米ドル、カナダドル、ユーロ、ポンド、ブラジル・レアルなどの、対円および各通貨間における為替影響について分析しております。
- (2) 「コストダウン効果等」については、当社および北米、欧州、アジアなどの生産を行う主要な海外連結子会社におけるコストダウン効果や原材料価格の変動影響などを対象に分析しております。
- (3) 「売上変動及び構成差等」については、売上収益の変化や機種構成の変化に伴う利益の変動に加え、その他の売上総利益の変化要因を対象にして分析しております。
- (4) 「販売費及び一般管理費」については、販売費及び一般管理費の前年度との差から、当該科目に影響する「為替換算差」を除いて表示しております。
- (5) 「研究開発費」については、研究開発費の前年度との差から、当該科目に影響する「為替換算差」を除いて表示しております。

## 販売台数：

### 二輪事業

Hondaグループ販売台数は、当社および連結子会社、ならびに持分法適用会社の完成車(二輪車・A T V・S i d e - b y - S i d e)販売台数です。一方、連結売上台数は、外部顧客への売上収益に対応する販売台数であり、当社および連結子会社の完成車販売台数です。

### 四輪事業

Hondaグループ販売台数は、当社および連結子会社、ならびに持分法適用会社の完成車販売台数です。一方、連結売上台数は、外部顧客への売上収益に対応する販売台数であり、当社および連結子会社の完成車販売台数です。また、当社の日本の金融子会社が提供する残価設定型クレジットが、IFRSにおいてオペレーティング・リースに該当する場合、当該金融サービスを活用して連結子会社を通して販売された四輪車は、四輪事業の外部顧客への売上収益に計上されないため、連結売上台数には含めていませんが、Hondaグループ販売台数には含めています。

### ライフクリエーション事業

Hondaグループ販売台数は、当社および連結子会社、ならびに持分法適用会社のパワープロダクツ販売台数です。一方、連結売上台数は、外部顧客への売上収益に対応する販売台数であり、当社および連結子会社のパワープロダクツ販売台数です。なお、当社は、パワープロダクツを販売している持分法適用会社を有しないため、ライフクリエーション事業においては、Hondaグループ販売台数と連結売上台数に差異はありません。

### ご参考

\* 基本的1株当たり当期利益(親会社の所有者に帰属)、基本的1株当たり四半期利益(親会社の所有者に帰属)

基本的加重平均普通株式数：2019年度第3四半期	1,754,228千株、	2020年度第3四半期	1,726,646千株
2019年度第3四半期累計	1,757,435千株、	2020年度第3四半期累計	1,726,635千株
2019年度実績	1,752,006千株、	2020年度見通し	1,726,637千株

**HONDA**

The Power of Dreams

# 補足資料

**3カ月間**

前年度比 + 239億円 / + 0.6% (為替換算影響除く: + 1,706 億円 / + 4.6%)

	2019年度	2020年度	増減	為替換算影響除く増減 (%)	
二輪事業	5,302	<b>4,908</b>	- 393	- 30	- 0.6%
四輪事業	25,231	<b>25,851</b>	+ 620	+ 1,484	+ 5.9%
金融サービス事業	6,163	<b>6,145</b>	- 17	+ 207	+ 3.4%
ライフクリエーション事業及びその他の事業	778	<b>809</b>	+ 30	+ 45	+ 5.8%
合計	37,475	<b>37,715</b>	+ 239	+ 1,706	+ 4.6%
期中平均為替レート 米ドル	109円	<b>104円</b>			

**9カ月間**

前年度比 - 19,262 億円 / - 16.8% (為替換算影響除く: - 16,393 億円 / - 14.3%)

	2019年度	2020年度	増減	為替換算影響除く増減 (%)	
二輪事業	15,857	<b>12,581</b>	- 3,275	- 2,454	- 15.5%
四輪事業	76,911	<b>62,077</b>	- 14,833	- 13,255	- 17.2%
金融サービス事業	19,619	<b>18,536</b>	- 1,083	- 653	- 3.3%
ライフクリエーション事業及びその他の事業	2,341	<b>2,271</b>	- 69	- 30	- 1.3%
合計	114,729	<b>95,467</b>	- 19,262	- 16,393	- 14.3%
期中平均為替レート 米ドル	109円	<b>106円</b>			



上段：2020年度

下段：2019年度

	二輪事業	四輪事業	金融サービス事業	ライフクリエーション事業 及びその他の事業
(台数：千台)				
Honda	<b>10,591</b>	<b>3,425</b>	-	<b>3,855</b>
グループ販売台数	<b>(7,263)</b>	<b>(1,899)</b>	-	<b>(3,855)</b>
(連結売上台数)	15,038	3,809	-	3,630
	(9,732)	(2,541)	-	(3,630)
(金額：億円)				
売上収益	<b>12,581</b>	<b>63,609</b>	<b>18,631</b>	<b>2,414</b>
	15,857	78,559	19,725	2,534
営業利益	<b>1,523</b>	<b>526</b>	<b>2,505</b>	<b>- 85</b>
	2,221	2,290	1,967	- 86
営業利益率	<b>12.1%</b>	<b>0.8%</b>	<b>13.4%</b>	<b>- 3.6%</b>
	14.0%	2.9%	10.0%	- 3.4%

金融サービス事業は、お客様が製品を購入する際のローンやリースなどのサービスの提供を行っており、主に四輪車の販売に関連するものです。

金融サービス中の四輪分は、営業利益を総資産比率で按分する等の計算方法で算出しています。

**【ご参考】金融サービス中の四輪分合算営業利益**

**2,924億円 / 3.6%**

前年同期：4,172億円 / 4.3%

上記に含まれる航空機  
および航空エンジン営業利益  
**- 245億円**

前年同期：- 284億円

## 所在地別 売上収益/営業利益の状況

(億円)

3か月間	日本		北米		欧州		アジア		その他	
	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度
売上収益	10,449	<b>10,782</b>	21,628	<b>21,678</b>	1,903	<b>1,735</b>	10,165	<b>10,289</b>	1,818	<b>1,377</b>
営業利益	- 431	<b>436</b>	1,017	<b>1,499</b>	12	<b>71</b>	886	<b>791</b>	271	<b>- 16</b>
営業利益増減	+ 868億円		+ 47.3%		+ 492.3%		- 10.7%		- 287億円	

9か月間	日本		北米		欧州		アジア		その他	
	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度
売上収益	33,383	<b>27,497</b>	65,446	<b>54,709</b>	5,830	<b>4,726</b>	30,335	<b>24,544</b>	5,451	<b>3,153</b>
営業利益	380	<b>- 313</b>	2,807	<b>2,692</b>	110	<b>183</b>	2,749	<b>1,700</b>	355	<b>4</b>
営業利益増減	- 694億円		- 4.1%		+ 66.8%		- 38.1%		- 98.8%	

(億円)	第3四半期 (3ヵ月間)			9ヵ月間		
	2019年度 実績	2020年度 実績	増減	2019年度 実績	2020年度 実績	増減
設備投資	936	<b>924</b>	- 12	2,289	<b>2,125</b>	- 164
減価償却費	968	<b>922</b>	- 46	3,006	<b>2,727</b>	- 279
研究開発支出	2,050	<b>1,882</b>	- 168	5,806	<b>5,442</b>	- 364

# 事業別 売上収益/営業利益の推移

(億円)

セグメント情報(推移)	四半期実績										累計実績			
	2019年度				2020年度				増減	増減率	2019年度 累計実績	2020年度 累計実績	増減	増減率
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期						
<b>売上収益</b>														
二輪事業	5,330	5,225	5,302	4,735	2,742	4,930	4,908		- 393	- 7.4%	15,857	12,581	- 3,275	- 20.7%
四輪事業	27,501	25,308	25,748	23,387	12,557	24,670	26,381		+ 632	+ 2.5%	78,559	63,609	- 14,949	- 19.0%
金融サービス事業	6,920	6,607	6,197	6,283	5,790	6,665	6,176		- 21	- 0.3%	19,725	18,631	- 1,094	- 5.5%
LC事業及びその他の事業	852	818	863	972	682	867	864		+ 0	+ 0.0%	2,534	2,414	- 119	- 4.7%
消去または全社	- 641	- 668	- 636	- 798	- 534	- 621	- 614		+ 22	-	- 1,947	- 1,769	+ 177	-
合計	39,962	37,291	37,475	34,580	21,237	36,513	37,715		+ 239	+ 0.6%	114,729	95,467	- 19,262	- 16.8%
<b>営業利益</b>														
二輪事業	698	777	745	634	112	684	727		- 18	- 2.4%	2,221	1,523	- 698	- 31.4%
四輪事業	1,203	749	337	- 756	- 1,958	1,253	1,231		+ 894	+ 265.3%	2,290	526	- 1,763	- 77.0%
金融サービス事業	657	663	645	229	715	932	857		+ 211	+ 32.7%	1,967	2,505	+ 538	+ 27.4%
LC事業及びその他の事業	- 35	10	- 61	- 163	- 5	- 41	- 38		+ 23	-	- 86	- 85	+ 1	-
合計	2,524	2,201	1,666	- 56	- 1,136	2,829	2,777		+ 1,110	+ 66.7%	6,392	4,470	- 1,922	- 30.1%
LC事業に含まれる航空機 および航空エンジン営業利益	- 91	- 92	- 100	- 138	- 71	- 81	- 91		+ 8	-	- 284	- 245	+ 38	-
金融サービス事業における 期末金融子会社資産残高	100,766	101,313	103,730	102,821	102,022	102,349	102,805		- 925	- 0.9%				

(千台)

Honda グループ 販売台数	四半期実績									累計実績			年間見通し		
	2019年度				2020年度					2019年度 累計実績	2020年度 累計実績	増減	2019年度 実績	2020年度 年間見通し	増減
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	増減						
二輪事業 計	4,921	5,098	5,019	4,302	1,855	4,467	4,269		- 750	15,038	10,591	- 4,447	19,340	15,000	- 4,340
日本	51	61	42	51	50	59	46		+ 4	154	155	+ 1	205	210	+ 5
北米	74	75	72	109	61	80	99		+ 27	221	240	+ 19	330	320	- 10
欧州	84	57	45	53	61	63	35		- 10	186	159	- 27	239	230	- 9
アジア	4,378	4,575	4,500	3,809	1,572	3,930	3,755		- 745	13,453	9,257	- 4,196	17,262	13,195	- 4,067
その他	334	330	360	280	111	335	334		- 26	1,024	780	- 244	1,304	1,045	- 259
四輪事業 計	1,321	1,241	1,247	981	792	1,253	1,380		+ 133	3,809	3,425	- 384	4,790	4,500	- 290
日本	181	183	125	183	129	143	146		+ 21	489	418	- 71	672	595	- 77
北米	495	433	474	423	159	460	479		+ 5	1,402	1,098	- 304	1,825	1,485	- 340
欧州	34	34	35	30	16	34	27		- 8	103	77	- 26	133	95	- 38
アジア	554	540	561	297	473	581	687		+ 126	1,655	1,741	+ 86	1,952	2,195	+ 243
その他	57	51	52	48	15	35	41		- 11	160	91	- 69	208	130	- 78
LC事業 計	1,280	1,155	1,195	2,071	1,083	1,370	1,402		+ 207	3,630	3,855	+ 225	5,701	5,500	- 201
日本	74	80	64	94	80	78	75		+ 11	218	233	+ 15	312	320	+ 8
北米	605	504	552	1,187	524	647	644		+ 92	1,661	1,815	+ 154	2,848	2,580	- 268
欧州	198	154	150	343	170	176	221		+ 71	502	567	+ 65	845	890	+ 45
アジア	347	346	345	337	257	383	372		+ 27	1,038	1,012	- 26	1,375	1,375	+ 0
その他	56	71	84	110	52	86	90		+ 6	211	228	+ 17	321	335	+ 14
連結売上台数	3,264	3,278	3,190	2,694	1,221	3,023	3,019		- 171	9,732	7,263	- 2,469	12,426	10,185	- 2,241
二輪事業 計	51	61	42	51	50	59	46		+ 4	154	155	+ 1	205	210	+ 5
北米	74	75	72	109	61	80	99		+ 27	221	240	+ 19	330	320	- 10
欧州	84	57	45	53	61	63	35		- 10	186	159	- 27	239	230	- 9
アジア	2,721	2,755	2,671	2,201	938	2,486	2,505		- 166	8,147	5,929	- 2,218	10,348	8,385	- 1,963
その他	334	330	360	280	111	335	334		- 26	1,024	780	- 244	1,304	1,040	- 264
四輪事業 計	905	828	808	777	337	753	809		+ 1	2,541	1,899	- 642	3,318	2,615	- 703
日本	161	163	107	158	113	125	128		+ 21	431	366	- 65	589	515	- 74
北米	495	433	474	423	159	460	479		+ 5	1,402	1,098	- 304	1,825	1,485	- 340
欧州	34	34	35	30	16	34	27		- 8	103	77	- 26	133	95	- 38
アジア	158	147	140	118	34	99	134		- 6	445	267	- 178	563	390	- 173
その他	57	51	52	48	15	35	41		- 11	160	91	- 69	208	130	- 78
LC事業 計	1,280	1,155	1,195	2,071	1,083	1,370	1,402		+ 207	3,630	3,855	+ 225	5,701	5,500	- 201
日本	74	80	64	94	80	78	75		+ 11	218	233	+ 15	312	320	+ 8
北米	605	504	552	1,187	524	647	644		+ 92	1,661	1,815	+ 154	2,848	2,580	- 268
欧州	198	154	150	343	170	176	221		+ 71	502	567	+ 65	845	890	+ 45
アジア	347	346	345	337	257	383	372		+ 27	1,038	1,012	- 26	1,375	1,375	+ 0
その他	56	71	84	110	52	86	90		+ 6	211	228	+ 17	321	335	+ 14